No.129
2011 4

學院だより

千代田三番町キャンパス１号館

2011 年４月より、東京家政学院大学　千代田三番町校舎がリニューアルいたしました。

エントランスプラザ

ローズホール（カフェテリア・講堂）

目　次

○　東京家政学院大学…… １～３P
○　入試日程…… ４P
○　筑波学院大学…… ５～７P
○　学校法人東京家政学院…… ８P
○　東京家政学院中学・高等学校…… ９～ 10P
○　社会のなかで　研究室紹介…… 11P

発行　学校法人　東京家政学院
〒 102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

東京家政学院大学

TOKYO KASEI - GAKUIN UNIVERSITY

千代田三番町
キャンパス
ローズホール
（カフェテリア・講堂）
（2011 年３月現在）

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）

千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

新入生にむけて

東京家政学院大学
学長　天野正子

ご入学、おめでとう！　新入生のみなさんの輝かしい門出を心からお祝い致します。

この入学式がみなさんの新しいスタートであるように、本学にとっても新しい出発点となります。本学の発祥の地である千代田三番町キャンパスをリニューアルして、現代生活学部の二学科が新キャンパスで、三学科が町田キャンパスで、それぞれ地の利を生かした教育を展開する、二キャンパス制に生まれ変わるからです。みなさんは、二キャンパス制を経験する第一回生です。

本学は、今年で88年を迎える、長い歴史と実績をもっています。創立者は家政学の草分けである大江スミ先生です。大江先生の建学の精神は、現実をしっかりとらえる「広い知識」(knowledge)、他者の立場を思いやる「徳性」(Virtue)、生活課題に取り組む「技術」(Art)を兼ね備えた女性を育てることでした。本学ではこれをＫＶＡスピリットと呼んで大切に引き継いでいます。

本学がとくに重視しているのは、入学してくるみなさん一人ひとりにていねいに向き合い、その隠れた能力や関心、意欲を引き出すことで、四年間でどれだけ成長したのかという「卒業成長値」です。

そのためには、なによりもみなさん一人ひとりが自分自身に対する信頼と敬意をはらう、いいかえれば自分自身のなかの限りない可能性を認めてほしい、そう思います。自分自身を大切に思う感覚が育てば、何にでも挑戦できます。みなさんがどのような価値を付加して成長されるのか、四年後に大きな希望を託し、新しい世界にむけて旅立ちましょう。

平成23年度学友会役員挨拶

東京家政学院大学
学友会会長
倉田　奈緒美

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

入学してまもなく、新しい環境に戸惑っている人はいませんか？困ったときは近くの先輩や先生に相談してみましょう。

また夢に向かって頑張る人、まだ悩んでいる人、これから夢を見つける人。4年間の大学生活は、自分が成長できるチャンスです。たくさんのことに挑戦する気持ちを大切にして欲しいと思います。

そして、みなさんが素敵な大学生活を送れることを願っています。

平成23年度役員決定

（東京家政学院大学　学友会）

会　長	倉田　奈緒美	３ＧＡ
副会長	原田　愛	３ＮＡ
〃	笠原　佑里	２ＨＢ
監査役	吉田　伸江	３ＮＡ
〃	横田　夏美	２ＨＣ
会　計	古川　綾美	３ＧＡ
〃	西澤　薫	２ＨＢ
書　記	室木　優花	３ＧＡ
〃	山田　さゆり	３ＧＡ
〃	遠藤　玲実	２ＧＡ
〃	筧　実樹	２ＤＢ
渉　外	徳江　遥	３ＮＡ
〃	中島　佳香	２ＨＡ
〃	小林　紀子	２ＤＢ

（ＫＶＡ祭実行委員）

委員長	田中　美麻	３ＰＢ
副委員長	鈴木　汐理	３ＰＢ

第10回神田雪だるまコンテスト　嬬恋賞授賞！

平成23年1月14日（金）～16日（日）に開催された第10回神田小川町雪だるまフェアの「雪だるまコンテスト」で、東京家政学院大学から参加した2チームがそろって特別賞の「嬬恋賞」を受賞しました。

神田雪だるまフェアは、千代田区神田小川町の5商店街が主催し、千代田区、千代田区観光協会、千代田区商店街連合会などが後援し、群馬県嬬恋村と提携して嬬恋村から約70トンの雪を運び込んで実施されている行事。雪だるまは縦1ｍ、横1ｍ、高さ2ｍの雪の塊を削って作成するもので、毎年芸術的な作品やユニークな作品が作成されています。

嬬恋賞を受賞したチームは家政学科3年生の「王下七武海」チーム（作品名は「チョッパー」）と、現代家政学科1年生の「88ガールズ」チーム（作品名は「お米ＪＡＰＡＮ」）。

昨年までは短期大学のチームが参加して2年連続で嬬恋賞を受賞しており、今年で3年連続の受賞となりました。

平成22年度卒業式（大学・大学院）の中止について

平成22年度の大学卒業式及び大学院修了式は3月18日（金）に大江スミ記念ホールで予定していましたが、3月11日に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の影響により、大変残念ではございますが、中止とさせていただきました。この災害の影響を受けた皆様に、お見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表します。なお、大学から卒業生には個別に連絡をさせていただいております。また、大学では今回の震災の義捐金の募集や、被災地からの受験生及び在学生の被災者に対する学納金等支援措置について行なっておりますので、詳しくは大学ＨＰをご覧ください。

平成22年度修士論文並びに卒業研究発表会

大学院では、平成22年度大学院修士論文発表会が、平成23年2月2日に行われました。6名の大学院生が、履修コース別の専門分野及び関連分野の学修の成果をまとめた論文を発表しました。

大学では、平成22年度卒業研究発表会が、12月中旬と1月下旬から2月上旬にかけて、学科別、家政学科は専攻・コース別に行われました。

発表会は、主にパワーポイントを使用した論文発表と質疑応答で行われました。家政学科の衣環境コースの発表会では、被服整理学の一つである染色分野を研究した学生が、様々な染色方法で染めた訪問着を制作した研究発表があり、染色の奥深さを知ることができました。他に、住居学科では、ポスターセッションが行われました。日本文化学科では、発表会に加え、東京家政学院大学生活文化博物館で、書道を履修分野とした学生の作品を展示した卒業制作展が開催されました。

大学院修士論文発表会

コンビニの設置について

学生食堂が、リニューアルして4月にオープンするのに併せて、兼ねてから、学生より強い要望がありましたコンビニエンスストアー（ヤマザキYショップ）が、4月に町田キャンパス3号棟2階にオープンします。

営業時間は、平日は8時00分から18時まで、土曜日は8時00分から14時まで、祝祭日は休業。

今までは、卒業研究や資格試験の勉強で遅くまで大学に残った時には、パンの自動販売機や冷凍食品の自動販売機を利用して商品を

キャンパス内の禁煙について

たばこの煙には、ダイオキシンなど200種類もの有害物質や、肺ガンをはじめ様々なガンの原因といわれる物質が含まれ、受動喫煙でも喫煙者と同様に健康に悪影響を及ぼすことがわかっています。また、健康増進法第25条では、「多数の人が利用する施設においては、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定しています。そこで、キャンパスの禁煙について教職員が検討した結果、千代田三番町キャンパスは平成23年4月から、町田キャンパスは平成24年4月から大学敷地内を全面禁煙とします。なお、町田キャンパスについては平成23年4月から1年間は、大江スミ記念棟と学生ホール棟の間に設置した喫煙所のみの喫煙に限らせていただきます。

購入する事しかできませんでした。

4月からコンビニエンスストアーでは、パン、お弁当、文房具、雑誌、一般生活用品以外はもとより、授業で使用する教科書や物品の注文も取り扱うなど、大学生活を送るのに十分な品揃えとなっています。

また、コンビニでの支払いは、今年度から新たに導入したIC学生証に付いている電子マネー（Edy）で行うこともできます。

大学案内 2012

『大学案内2012』は『大学案内2011』をブラッシュアップし、『大学案内2011』の好評だったスッキリしたイメージはそのままに、もっと温かみを強調した方が良いと評された点は改善するというコンセプトのもとに制作されました。特に表紙から巻頭にかけた導入部は〝本学の楽しい雰囲気を醸し出したい〟と、学生の生の声を載せています。全学科の学生500人に〝東京家政学院大学の良いところ〟をコメントいただき、お気に入りの写真も提供していただきました。楽しい雰囲気の大学、明るく真面目な学生のイメージを少しでも伝えられたら幸いです。

国際交流センター地域交流プログラム②「中国語チューター」

国際交流センターでは、2007年より、地域交流プログラム①「中国人留学生による中国語教室」を開催していますが、修了者からの「是非継続クラスを！」というリクエストに長い間応えることができませんでした。

しかし、これまで学生を対象として実施されていた中国語チューターを地域の方にも受けて頂けるようになり、地域交流プログラム②として大変喜ばれています。

初年度の2010年度は、前後期延べ6名の中国人留学生が、延べ22名の地域の方を対象に中国語と中国文化を教えました。教室での授業とは違い、3～5人という少人数で行われるチューターは日中の距離をまたグッと縮めたようです。

中国語チューターの様子

現代生活学セミナー：ミタイ基金クリスマスチャリティコンサートのご報告

昨年12月25日（土）のクリスマスに大江スミ記念ホールにて東京家政学院大学現代生活学セミナー：ミタイ基金クリスマスチャリティコンサートを開催致しました。天野正子学長による開演の挨拶の後、アルパデュオソンリーサさんによる南米パラグアイハープ演奏、国際協力トーク、川嶋あいさんによるライブが行われました。また、パラグアイの農民が生産した蜜蠟を用いたクリスマスキャンドルを学生と川嶋あいさんとのコラボで制作し、抽選会やチャリティ販売も行いました。会場には600名を越える方がご参加下さいました。販売用に準備した蜜蠟キャンドルは完売いたしました。コンサートによる収益金50万円は、ミタイ基金を通じ2月1日（火）に送金の手続きを取りました。パラグアイでは2月28日（月）より新学期が始まります。どのような就学支援を行うのか、村の会議などを通して決定して参ります。皆さま方のご協力・ご理解に心から御礼申し上げます。

川嶋あいさんと参加者全員で赤鼻のトナカイを歌いました

川嶋あいさんとのチャリティトーク

オープンキャンパス 2011 日程

千代田三番町：6/19（日）7/10（日）7/24（日）
8/7（日）8/21（日）9/4（日）
10/2（日）

町　　田：6/5（日）7/17（日）7/31（日）
8/7（日）8/21（日）9/11（日）
11/12（土）・13（日）＊＊KVA祭同時開催

オープンキャンパスは、高校生の“大学の雰囲気を知りたい”という思いに応える一番身近な機会です。大学紹介や進学個別相談、体験授業、キャンパスツアーなどを通して、教員や在学生たちと触れ合い、話を聞き質問をしたりすることで“大学の雰囲気”を感じ取っていきます。

千代田三番町キャンパスが本格的に稼働し始める今年は、昨年度にも増して、より多くの高校生や保護者の方々の来場を期待しています。

高校生に東京家政学院大学を良くご理解していただくために、更に工夫を重ねていきたいと思います。

平成24年度入試日程　東京家政学院大学・大学院

AO入試

入試種目	日程	エントリー期間	面談日	出願期間	合格発表
AO入試	1期	8月1日（月）～8月16日（火）	8月25日（木）	9月1日（木）～9月12日（月）	9月16日（金）
	2期	8月1日（月）～9月8日（木）	9月17日（土）	9月21日（水）～9月29日（木）	10月4日（火）
	3期	8月1日（月）～9月29日（木）	10月8日（土）	10月12日（水）～10月20日（木）	10月25日（火）
	4期	8月1日（月）～10月20日（木）	10月29日（土）	11月1日（火）～11月10日（木）	11月15日（火）
	5期	8月1日（月）～11月24日（木）	12月3日（土）	12月6日（火）～12月12日（月）	12月15日（木）

※健康栄養学科は1期～3期のみ実施しエントリー期間が上記と異なりますので、詳しくは大学案内をご覧下さい。
※面談会場は、現代家政学科・健康栄養学科は千代田三番町キャンパス、生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科は町田キャンパスで実施

☆お問い合わせ先
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292
東京都町田市相原町2600番地
入試広報課
TEL　042-782-9411

推薦入試

区分	大学院	東京家政学院大学・現代生活学部
	人間生活学研究科	現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	平成23年8月29日（月）～9月12日（月）	（A日程）郵送受付：平成23年10月20日（木）～10月28日（金） 窓口受付：平成23年10月31日（月） （B日程）郵送受付：平成23年11月9日（水）～11月18日（金） 窓口受付：平成23年11月21日（月）
試験日	平成23年9月20日（火）	（A日程）平成23年11月6日（日） （B日程）平成23年11月26日（土）
試験場	町田キャンパス	現代家政学科・健康栄養学科：千代田三番町キャンパス 生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科：町田キャンパス
合格発表	平成23年9月27日（火）	（A日程）平成23年11月8日（火） （B日程）平成23年11月29日（火）

※窓口受付は町田キャンパス入試広報課窓口に限る。

○募集人員

入試方法＼区分		大学院	東京家政学院大学・現代生活学部				
		人間生活学研究科 生活文化専攻	現代家政学科	健康栄養学科	生活デザイン学科	児童学科	人間福祉学科
AO入試		4月入学生（前期・後期）・9月入学生、合わせて10名	15	15	20	15	10
推薦入試	A日程		50	28	50	30	30
	B日程		10	5	3	4	4
一般入試	S日程		10	10	10	6	5
	A日程		20	25	20	15	15
	B日程		3	8	5	3	5
	C日程		2	－	2	2	2
センター試験利用入試	A日程		5	9	5	3	5
	B日程		3	4	3	1	2
	C日程		2	1	2	1	2
計		10	120	105	120	80	80

一般入試

区分	大学院	東京家政学院大学・現代生活学部
	人間生活学研究科	現代家政学科 健康栄養学科（C日程を除く） 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（4月入学・前期） 平成23年9月5日（月）～9月12日（月） （4月入学・後期） 平成24年1月27日（金）～2月3日（金） （9月入学） 平成24年7月2日（月）～7月9日（月）	（S日程）平成24年1月5日（木）～1月13日（金） （A日程）郵送受付：平成24年1月5日（木）～1月19日（木） 窓口受付：平成24年1月20日（金） （B日程）郵送受付：平成24年1月23日（月）～2月8日（水） 窓口受付：平成24年2月9日（木） （C日程）郵送受付：平成24年2月23日（木）～3月5日（月） 窓口受付：平成24年3月6日（火）
試験日	（4月入学・前期） 平成23年9月20日（火） （4月入学・後期） 平成24年2月13日（月） （9月入学） 平成24年7月18日（水）	（S日程）平成24年1月21日（土） （A日程）平成24年2月1日（水）、3日（金）のいずれか1日または両日 （B日程）平成24年2月16日（木） （C日程）平成24年3月14日（水）
試験場	町田キャンパス	（S日程）千代田三番町キャンパス・町田キャンパス・仙台・新潟・宇都宮・甲府・長野・静岡 （A・B日程）千代田三番町キャンパス・町田キャンパス（志願者選択） （C日程）現代家政学科：千代田三番町キャンパス 生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科：町田キャンパス
合格発表	（4月入学・前期） 平成23年9月27日（火） （4月入学・後期） 平成24年2月18日（土） （9月入学） 平成24年7月24日（火）	（S日程）平成24年1月25日（水） （A日程）平成24年2月4日（土） （B日程）平成24年2月17日（金） （C日程）平成24年3月15日（木）

※窓口受付は町田キャンパス入試広報課窓口に限る。

センター試験利用入試

区分	東京家政学院大学・現代生活学部
	現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（A日程）郵送受付：平成24年1月16日（月）～2月3日（金） 窓口受付：平成24年2月6日（月） （B日程）郵送受付：平成24年1月30日（月）～2月10日（金） 窓口受付：平成24年2月13日（月） （C日程）郵送受付：平成24年3月8日（木）～3月19日（月） 窓口受付：平成24年3月21日（水）
試験日（センター試験）	平成24年1月14日（土）、15日（日）
合格発表	（A日程）平成24年2月9日（木） （B日程）平成24年2月17日（金） （C日程）平成24年3月23日（金）

※窓口受付は、町田キャンパス入試広報課窓口に限る。

＊KVA特別経済支援
私費外国人留学生試験を除く全試験日程で、以下のKVA特別経済支援を実施
①入学金免除（審査有）：最大50名
②学納金分割納入（審査無）：定員設定なし

＊特待生制度
◎指定校推薦入試及び公募制推薦入試A日程受験生のうち、総合得点上位者については、特待生として1年次授業料（前・後期分）を免除する。但し、指定校推薦受験者については希望者のみ、特待生制度の判定を行うこととし、希望する場合は、公募制推薦と同様に小論文試験を受験すること。なお、小論文試験の成績は、合否に一切影響しない。
◎一般入試S日程受験者のうち、以下の①、②に該当する者については特待生として1年次授業料（前期分）を免除する。
①各学科の総合得点上位者2名、
②①で認定された者を除く学部全体の総合得点上位者10名を

＊入学検定料免除制度
①一般入試を出願する際、1回分の入学検定料（30.000円）で複数回（最大5回）が出願可能
②センター試験利用入試を出願する際、1回分の入学検定料（15,000円）で複数回（最大3回）の出願が可能

詳しくは大学案内2012の入試ガイド、学生募集要項（8月発行予定）をご参照ください。

平成24年度入試日程　筑波学院大学

入試区分	セミナー開催日	出願期間（消印有効）	試験日 本面談日	合格発表	募集人員
推薦入試　A日程【奨学生/指定校/公募/卒業生】		10/24（月）～11/2（水）	11/13（日）	11/17（木）	70
推薦入試　B日程【指定校/公募/卒業生】		11/21（月）～12/2（金）	12/11（日）	12/15（木）	10
一般入試　A日程		1/16（月）～2/2（木）	2/11（土・祝）	2/15（水）	30
一般入試　B日程		2/13（月）～2/22（水）	3/3（土）	3/8（木）	15
大学入試センター試験			1/14（土） 1/15（日）		
センター試験利用入試　A日程		1/30（月）～2/9（木）		2/20（月）	10
センター試験利用入試　B日程		3/5（月）～3/13（火）		3/22（木）	5
AO入試【セミナー型】	①6/19（日） ②7/10（日）	8/1（月）～8/11（木）	セミナー受講結果と出願書類の総合判断【本面談なし】	9/1（木）	60
AO入試【セミナー型】	③10/2（日）	10/7（金）～10/13（木）	セミナー受講結果と出願書類の総合判断【本面談なし】	10/20（木）	
AO入試　1期		9/1（木）～9/7（水）	9/18（日）	9/22（木）	
AO入試　2期		11/7（月）～11/16（水）	11/27（日）	12/1（木）	
AO入試　3期		1/6（金）～1/16（月）	1/22（日）	1/26（木）	
AO入試　4期		3/1（木）～3/12（月）	3/18（日）	3/22（木）	
社会人入試		1/6（金）～1/16（月）	2/5（日）	2/9（木）	若干名
外国人留学生入試　A日程		9/5（月）～9/15（木）	10/8（土）	10/20（木）	若干名
外国人留学生入試　B日程		1/6（金）～1/16（月）	2/5（日）	2/9（木）	
一般編入学試験		10/24（月）～11/2（水）	11/27（日）	12/1（木）	若干名
外国人留学生編入学試験		1/6（金）～1/16（月）	2/5（日）	2/9（木）	若干名
韓国現地編入学試験		10/11（火）～10/21（金）	11/8（火）	11/17（木）	若干名

○お問い合わせ先
筑波学院大学
〒305-0292
茨城県つくば市吾妻3-1
入試・広報課
TEL　029-858-4815
※詳しくは大学案内、入試ガイドをご覧ください。

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

卒業制作展（つくばクレオスクエア）

新入生を迎えて
―学士力の涵養を―

筑波学院大学
学長　三石善吉

新入生の皆さん入学おめでとう。あなた方は、筑波学院大学の第7期生として入学されました。本学の教職員一同、あなた方を心から歓迎します。

筑波学院大学は、紫峰・筑波山を背景に、日本の最先端技術の中心である筑波研究学園都市の中心部にあり、規模は大きくありませんが、落ち着いた雰囲気を持つ学問の府です。

ところで、昨年から今年にかけて、新聞の取り上げる大学生の就職関連ニュースは、「ここ15年ぶり」の最低の内定率で、就職の「超氷河期」にあること、景気の「足踏み」が全国に広がっていること、などが報道されています。私たちが今生きているこの時代は、2008年9月のリーマンショックに端を発する「世界的大不況」の真っ只中にあります。経済の回復は、厳しい見方では五年はかかるかも知れない、とも言われていますから、2013年の秋口、あなたたち新入生諸君が3年生の時、ようやく世界経済は復興の兆しを見せるかもしれませんが、しかしこれとても確実と言う訳ではありません。

こう言った不確実性の高い現代を生き抜くためには、大学生としての基本的な力、つまり学士力が必要です。皆さんは、ぜひ以下の4点を実行して学士力を身につけてください。

第一に、新しい友達を積極的に作ってください。人と人の出会いを大切にして、様々な友達との付き合いの中で自分を磨いてください。第二に、大学での毎時間の勉強を、精神を集中して受講してください。特に意識して語学力や論理的思考力を養ってください。第三に、サークル活動やKVA祭、あるいはアルバイトなどに積極的に関わっていくことによって、集団の中でのコミュニケーション作りを学んでください。第四に、以上3つのことを実行する過程で、厳しい事、辛い事、悲しい事が襲ってきます。これを自分に与えられた神の試練だと考え、頑張って何とか切り抜ける強い精神力を養ってください。

学友会役員紹介

筑波学院大学
学友会会長
佐久間　典子

平成23年度、筑波学院大学学友会会長に就任いたしました佐久間典子です。

私は1年生から学友会役員に所属し、多くの大学の行事や学友会イベントの企画・運営に携わってきました。1年生から2年生で経験したことを振り返ってみると、どのイベントも成功させるのは「大変であった」「一生懸命に取り組んで楽しかった」と思えることばかりでした。

当たり前のことですが、イベントというのは1人で行えるものではありません。

たとえば、本学は、毎年、つくば市で行われている「まつりつくば」というイベントに参加しています。このイベントに参加するだけでも学生をはじめ、先生方や事務の方々の熱心な協力によって成り立っていることを感じます。また、大学の大きな行事である「KVA祭」で、昨年は外のステージで「仮装大会」、「お化け屋敷」を行い、学友会役員は準備から片づけが終わるまで「報告」「連絡」「相談」を大切にしながら活動していました。ここにも、役員一人一人のイベントを成功させようという姿勢がみられ、その「協力」というものが大きな力になったと感じています。

今年は、恒例のイベントを「協力すること」で成功させるとともに、役員や学生がイベントにさらに楽しく参加し、大学生活で充実感を得られるものにしていきたいと考えています。そして、役員の一人一人が多くの方々との交流や協力を大切にしていき、学友会を楽しく、開けた組織にしていきたいと思います。

平成22年度大江賞受賞者

平成22年度の大江賞受賞者は以下の通りです。

情報メディア学科　周　小舒
国際交流学科　秋葉　美希

卒業研究発表会

筑波学院大学の卒業研究発表会は、平成23年2月3日に行われました。一号棟三階を情報メディア、二号棟三階を国際交流の各学科が会場とし、各々4会場と2会場に分かれ発表を行いました。キーワードで言えば、情報メディアA会場では「ソフトやロボットの応用」、B会場では「食」「睡眠」、C会場では「CG」「アニメ」「画像」、D会場では「ファッション」「思考」「文化と美」等が主なテーマに、また国際交流では「中国の現状」「文学」「比較文化」「近現代史」「観光とサービス」関連テーマが多く取り上げられました。

第22回学生総会開催

第22回学生総会（学友会主催）が平成23年1月12日（水）に大教室にて開催されました。

平成22年度（平成22年1月1日～平成22年12月31日）については、学友会会長の選出・承認があり、新学友会長がまつりつくばやKVA祭等の活動計画を発表しました。他にも第21回KVA祭実行委員長、クラブ連合会委員長の新役員の選出・承認があり、新役員の挨拶及び紹介がありました。

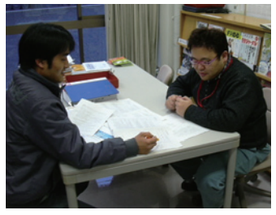
また、学友会の収支予算案についても承認されました。

引き続き、学長主催ニューイヤーパーティが第2食堂にて行われ、親睦交流を深めることができました。

就職サポート強化

マスコミで取り上げられていますように、新卒者の就職環境が『新氷河期』の厳しい中で本学の学生の就職活動も難渋しております。深刻な社会問題でもあり、政府政策サイト対策として厚生労働省や文部科学省からの支援で学生の就職活動支援のために相談員がキャリア支援課に派遣され、サポート支援が強化されております。

求人案件紹介の「ジョブサポーター」就職活動全般指導に「キャリアカウンセラー」「メンタルサポートスタッフ」3人のベテラン相談員の体制で学生への就職支援に臨んでいます。


就職サポート面接

平成23年度役員決定

平成23年度学友会
会　長　佐久間典子
副会長　清水亮太、佐保田拓磨
会　計　金子美紀、吉田真由美、武藤友香
書　記　佐藤杏奈
広　報　鈴木友希、黒尾芽依、中野真梨華
渉　外　小松原駿、石井　亨、株木良平
　　麥　乃文、長崎　悠、飯野靖子
　　小川広和
会計監査　佐久間星良

第21回KVA祭実行委員会
委員長　川澄有紀
副委員長　山崎佑太朗

平成23年度クラブ連合会
委員長　吉田真由美
副委員長　船山　舜

学生総会　新役員　紹介

OCP 学生報告会開催

1月24日、外部の方に公開して恒例のOCP学生報告会を開催しました。1年生、2年生、3年生、合計24組の学生報告がありました。今年も学生が司会を務め、手作り感溢れる学生報告会になりました。当日は学生の受入にご協力いただいた、NPO法人、民間企業、行政、教育機関、などの大勢の方にお越しいただき、本学のOCPに対する期待の大きさ、受入団体の方が我が子のように学生と接してくださっている様子を伺うことができました。

デザイン・アニメフェス

2月11日～13日の3連休に、つくば駅前の中央公園やセンター広場で「つくばSF・コミックフェスタ（2011）」が行なわれました。本学も会場内にブースを出し、デザイン、アニメ、ゲーム、キャラクター制作などの日頃の活動を紹介しました。多くの学生がコミック販売を行なったり、イベントスタッフとして協力するなど積極的に関わり、つくば市の企業や地域の皆様と交流を深めました。

2月14日～20日までは、グラフィックデザインゼミとアニメーションゼミ合同で、つくば駅近くにある西武筑波店クレオスクエアにおいて卒業制作展を行ないました。買物帰りのお客様や親子連れなど、たくさんの方に作品を見て頂くことができ、学生にとってまたとない勉強の場となりました。

メディアデザイン系では、この他にも2月27日に「デザイン・アニメフェスin筑波学院大学」を企画し、グラフィックデザイン、アニメーション、web、Flash、メディアアートなどの作品展示や、学生によるソフトのデモンストレーション、カフェ、卒業生による座談会を行なうなど、本学のデザイン教育を広く知って頂くよう活動していきます。

コミックフェスタ

保護者会実施

筑波学院大学では2月6日（日）に第9回保護者会を実施しました。今回は1年～3年を対象として、恒例の全体会及び個別面談会を行いました。

全体会では三石学長の挨拶、垣花学生部長による学生生活状況等の説明がありました。

就職については、木村就職委員長による本学の学生に関する就職状況、ハローワークの本学ジョブサポータである石塚氏による地域の企業情報を含めた就職状況の説明後、㈱学研メディコン事業統括本部長の大西純一氏を招いて講演が行われました。

大西氏の講演では「現在の就職環境と家庭での取組」という演題で、年齢構造・人口構造や産業構造・勤労構造等の経済環境の変化を統計的な観点から多角的に説明し、現在の就職環境であっても取組次第で充分に内定獲得できると結び、保護者から大変参考になったとの声があがりました。

個別面談は保護者と担任教員間で行われ、同時にキャリア支援課で就職相談を受け付けました。

今回の開催でも大学の様子や就職への関心が高い保護者が多く、保護者会の充実が望まれているようです。

大西氏を招いての講演

海外研修（中華大学）

12月14日筑波学院大学一行9名は台湾の桃園国際空港に着きました。ターミナルで約30名の中華大生の明るい歓迎を受け、それを皮切りに学生、教員、ホームステイ先の方々から多くのもてなしを20日まで7日間受けました。本学の学生達は日本文化、筑波、そして筑波学院大学について沢山のプレゼンをこなしました。また、日本語の授業を参観し、会話の相手を務め中華大生の日本語学習補助を行いました。夜には、大学近くの様々なレストランで中華大学の新しい友人と、辛い台湾料理に舌鼓を打ちました。週末には各自台湾のホストファミリーと楽しい2日間を過ごしました。

帰国時には学生は疲れきっているようでしたが、皆満足げに家路に着きました。7月にはつくばキャンパスで中華大生が6日間研修に来るので、その際にお返しができるのを今から楽しみにしています。

平成23年度オープンキャンパス日程

	開催日	
第1回	4月24日（日）10：30～	
第2回	5月15日（日）10：30～	
第3回	6月19日（日）10：30～	AOセミナー同時開催
第4回	7月10日（日）10：30～	AOセミナー同時開催
第5回	7月31日（日）10：30～	イベント形式
第6回	8月28日（日）10：30～	
第7回	9月11日（日）10：30～	
第8回	10月22日（土）・23日（日）	KVA祭同時開催
第9回	11月20日（日）10：30～	
第10回	2月26日（日）10：30～	
第11回	3月25日（日）10：30～	

平成22年度卒業式の中止について

平成22年度の大学卒業式を3月12日（土）に予定していましたが、3月11日に発生した東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の影響により、中止とさせていただきました。この災害の影響を受けた皆様に、お見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表します。なお、19日に来校できる方に卒業証書を授与し、来校できない方には、郵送いたしました。

また、大学では今回の震災の義捐金の募集や、被災地からの受験生及び在学生の被災者に対する学納金等支援措置について行なっておりますので、詳しくは大学HPをご覧ください。

（義捐金の募集　お問い合わせ先）
筑波学院大学 事務局総務課 TEL 029-858-4812

新しくなった千代田三番町キャンパス
1号館エントランス

東北地方太平洋沖地震に関する義捐金の募集について

3月11日(金)14：46に発生した東北地方太平洋沖地震に被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。なお、余震等による災害発生も危惧されますので引き続き十分ご留意ください。

私ども東京家政学院としても、学生・生徒をはじめ被災された方々又はそのご家族の皆さまに多少とも支援を申し上げるべく、義捐金の募集を行います。

趣意ご高承のうえ、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さまからいただきましたご芳志につきましては、学院における被災関係者に配賦させていただく他、その一部を公共機関を通して被災地へ送金させていただくことも考えております。

なお、義捐金の受付窓口は次のとおり設置しております。

・学校法人 東京家政学院	事務局経理課	TEL 03-3262-2846
・東京家政学院大学	事務局総務課	TEL 042-782-9810
・筑波学院大学	事務局総務課	TEL 029-858-4812
・東京家政学院高等学校	中高事務室	TEL 03-3262-2256
・東京家政学院中学校	同	上

東北地方太平洋沖地震について
3月11日に発生した 東北地方太平洋沖地震により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。
学校法人東京家政学院

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
（代表電話番号）03-3262-2251
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

平成23年度新任紹介

4月から大学・中高に入った新任の教員をご紹介します。

①三宅紀子（みやけのりこ）
東京家政学院大学准教授
食科学概論他担当

②新海公昭（しんかいきみあき）
東京家政学院大学講師
数学入門他担当

③王　佳晨（おうけいしん）
東京家政学院高等学校・中学校教諭
数学科担当

おしらせ
大江文庫資料紹介は今回お休みさせていただきます。

東京家政学院創立90周年記念募金について

東京家政学院創立９０周年記念募金の趣旨にご賛同戴き、平成22年7月末より多数の皆様方からご寄付を頂いております。既にご寄付を賜りました皆様には、ここに重ねてお礼申し上げます。

引き続き皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

【東京家政学院創立90周年記念募金入金状況】
（平成23年3月10日現在）

	[寄付者数]	〔寄付金額〕
個人：	1,203名	34,146,120円
企業、団体：	7件（含申込）	4,210,000円

＜お問合せ先＞
学校法人　東京家政学院
募金事務局　TEL：03-3262-2242
E-mail ： bokin@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院中学・高等学校
２０１２年度入試（２０１１年度実施）校内説明会日程

No.	中学			高校		
	キャンパスツアー	説明会		キャンパスツアー	説明会	
1	4月16日	6月26日	体験教室（Ⅰ）	5月7日	8月27日	ｵｰﾌﾟﾝｽｸｰﾙ
2	4月30日	9月4日	体験教室（Ⅱ）	6月25日	10月12日	授業公開
3	5月14日	9月22日	夜の説明会（Ⅰ）	7月23日	10月29日	学校説明会
4	5月28日	10月12日	授業公開	9月10日	11月26日	入試問題対策
5	6月11日	11月5日	ｵｰﾌﾟﾝｽｸｰﾙ	9月24日	12月1日から1月28日まで	入試直前個別相談期間
6	7月2日	11月22日	夜の説明会（Ⅱ）	11月12日		
7	9月17日	12月3日	過去問題対策			
8	11月19日	1月14日	入試直前対策			
9	1月28日	12月1日から1月28日まで	入試直前対策個別相談期間			

注記　各行事は事情により変更される場合があります。最新情報は本校HPでご確認ください。

平成23年度　東京家政学院中学・高等学校共通イベント

学校行事	
文化祭	10月1、2日
体育祭	9月7日
合唱祭	1月19日

※受験希望者・保護者の皆様は予約なしで自由に参加できます。

○お問い合わせ先
東京家政学院中学・高等学校
事務室
TEL　03-3262-2559（入試専用）
　　03-3262-2223
http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

新入生の皆様へ

校長
吉田　義昭

四月、さわやかな季節がやってきました。この春は皆さんの門出をお祝いしていることと思います。

中学校、高等学校の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年度からはこのキャンパスに大学生もやって来ます。きっと、活気のある、にぎやかなキャンパスになっていくことでしょう。大学の新しい施設も利用できるようになります。充実した学校生活が送れると思いますので、期待してください。

創立者大江スミ先生は「家政学」を研究された先生です。その先生が自分の理想とする教育を実践されるために創立されたのが本校です。

知識、学問の深い人、品性の高い人、諸技能を身につけた人、そのような女性に育てたいと考え、三つの教育目標を本校の建学の精神としました。東京家政学院高等学校からはこの春の卒業生で、戦後、一万五千名以上の卒業生が巣立っていきました。本校は卒業生と在校生が一緒に校風を守っている学校でもあります。

また中学・高等学校の今年度からのクラス編成は大きく変革されました。全学年に特別進学クラスと総合進学クラスの二つのコース制での編成となります。このようなコース制に変えた目的は、生徒全員が希望する進路先へ進学できるよう、ひとりひとりの夢を叶えてあげたい、未来への夢の実現を応援したいと強く思っているからです。これは大江スミ先生が教育目標として掲げた、知識、学問の深い女性になって、将来は自立して欲しいという願いもこめられています。

また、委員会活動では自主性、責任感を、クラブ活動では、自分を高めようとする心と身体を鍛えていってほしいと願っています。

最近の中高のクラブ活動での活躍ぶりは目を見張るものがあります。特に運動系クラブの頑張りはめざましく、高校ソングリーダー部、中高バスケット部、ソフトテニス部、バレーボール部などは、昨年度も優秀な成績を収めました。特に中高のバドミントン部は都大会レベルの大会で優勝を果たすなど、東京都のアスリート推進校に推薦され、都内でも数校に絞られるほどの実力校になっています。また、部員数の多い中高のバトントワリング部も様々な学校行事に参加していますし、剣道、卓球部なども元気に活動しています。

文化系クラブでも中高の吹奏楽部は全国大会に参加したり、定期演奏会を開催したり、大活躍であります。また、昨年度優秀な賞を頂いた、文芸部や美術部なども日頃からよく頑張っており、その他のクラブも生き生きと活動しています。新入生の皆さんも、是非、勉強と同時にクラブ活動においても、楽しく充実した学校生活が過ごせるよう努力して下さい。

改めて入学おめでとうございます。新しい制服の着心地はどうでしたか。新しい制服を着ると、心まで新しく変わっていくと思います。この新しい気持ちをいつまでも忘れないでいてください。

ご父母の皆様には、お子様のご入学を心よりお祝い申しあげます。在校生そして教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしておりました。本校は「ごきげんよう」の挨拶で始まります。私もこの「ごきげんよう」という言葉でみなさまをお迎えしたいと思っています。

一日も早く、学校生活に慣れて下さい。入学にあたって、みなさんにたくさんのことを期待したいと思っています。

中学生徒会長挨拶

ごきげんよう。この度、中学生徒会長になりました鈴木あゆみです。私は昨年から副会長をやらせて頂いていました。生徒会の仕事をさせてもらって全ての仕事がやりがいのある仕事ばかりで、もう一年、会長として家政学院を引っ張っていきたいと思い、会長に立候補しました。会長に決まって最初に思ったのは、「しっかりしなければ」ということです。私は中１の時からあまり体が強くなかったので、周りの方々に迷惑をかけてきました。それに精神的にも弱い部分があるので、そこの部分を直さないとしっかりした会長になれないと思いました。３月から新年度に向けての仕事が始まるので、てきぱきとこなしていきたいです。

会長になったからには、家政学院を笑顔でいっぱいにしたいですし、のびのびと生活してもらえるよう、精一杯頑張ります。ぜひ、今年の生徒会に期待して下さい！

平成二十三年度生徒会役員決定

中学生徒会長
鈴木　あゆみさん

中学副生徒会長
刑部　香月さん

※高校の生徒会長は4月に決定します。

中学如月祭

２月18日、四時間目に中学役員選挙、五・六時間目に如月祭が行われました。役員選挙では、会長候補、副会長候補それぞれが演説を行いました。少し緊張気味でしたが、心強い応援演説もあり、今後の生徒会で活動や学校のためにするべきことなど、どの候補者も具体的な考え方をしっかり述べていました。生徒会長に中二Ｃ鈴木あゆみさん、副会長に中一Ｂ刑部香月さんが当選しました。後半の如月祭はレシテーションコンテストや音楽部、ＰＯＰＳ部、バトントワリング部の演技や吹奏楽部の演奏で盛り上がり、最後は次期委員長から委員長へ花束贈呈のセレモニーで締めくくりました。また、体育優良賞中三Ａ大山優奈さん、吹奏楽理事長賞中三Ａ間ヶ部佳奈子さんが表彰されました。

如月祭

役員選挙

NHK番組「新感覚ゲーム　クエスタ」に、本校の卒業生・市野智絵さんが出演しました。

ＮＨＫ番組「新感覚ゲーム　クエスタ」の２月17日の放送で、本校の卒業生・市野智絵さんが出演しました。市野さんは、本校の校章をモチーフにデザインしたキャラクター、カセリーヌちゃんの生みの親でもあります。

今戸神社で神主として働く市野さんのもうひとつの顔は何？という出題で、ヒントは「独学や習うことが必須」「主な仕事相手は出版社」で、正解は「イラストレーター」でした。

市野さんは神主として働きながら、イラストレーターとしても活躍しています。

作品として絵馬や本校のカセリーヌちゃんのグッズも紹介されました。

東京家政学院のカセリーヌ
グッズの一部

平成22年度卒業式

３月３日（木）、高校の卒業式が千代田三番町校舎に新しくできたローズホールで行なわれました。今年は卒業証書も一人ずつ手渡され、１１８名が卒業しました。その中で家政学院に最も貢献した生徒に贈られる大江賞は高三Ｂの森井千菜弥さんが選ばれました。

卒業式の送辞は高二Ｄの鎌田綾音さん、答辞は高三Ａの大西恵さんが述べました。

答辞

卒業証書は一人ひとり手渡されました

２０１２年度　東京家政学院中学校　募集要項

試験日	2月1日（水）		2月2日（木）	2月5日（日）	2月9日（木）
	午前	午後	午後	午前	午前
募集人員	４０名	５０名	２０名	１５名	５名
集合時間	8:30	15:00	15:00	8:30	8:30
終了時間	2科　10:30 4科　11:30	2科　17:00	2科　17:00	2科　10:30 4科　11:30	2科　10:30 4科　11:30
試験科目	午前入試　2科（国語・算数）、4科（国語・算数・社会・理科）選択 午後入試　2科（国語・算数）				
時間・配点	2科：国語・算数（各 45 分、各 100 点） 4科：国語・算数（各 45 分、各 100 点）　社会・理科（計 50 分、各 50 点）				
出願受付	窓口：１月 20 日（金）～入試当日（日曜日を除く）　月～土　９：００～１６：００ 郵送：１月２０日（金）～１月２６日（木）消印有効				
検定料	20,000 円（複数回受験可　※チャレンジ入試を含む）				

２０１２年度　東京家政学院高等学校　募集要項

	試験日	募集人員
推薦入試	2012 年 1 月 22 日	４０名
一般入試	2 月 10 日	４０名

社会のなかで

リフォームという仕事の最前線で

東京家政学院大学　住居学科卒業
野村薫（旧姓吉田）

社会に出て、早くも23年。現在はミサワホームイング㈱にてリフォームの仕事に携わっています。

子供の頃、インテリアや建築がとにかく好きで、母の雑誌にたまに掲載される、建築実例の記事を、食い入るように見ていました。高校で将来の進路を考える際に、住居学科の存在を知り、迷わず選択をしました。

大学での4年間は自由で有意義な時間でした。設計事務所でのアルバイト、徹夜で製作した課題、先生・友人との会話、初の海外旅行など、寛容に見守ってくれた両親には本当に感謝をしています。

就職活動では、故中原暢子先生の御紹介で面接を受け、ミサワホーム㈱に決まりました。住宅メーカーの中でもアイデア・デザインのすばらしいところに惹かれました。

現在、主人・娘と3人で暮らしながら、会社ではやりがいのある仕事を任されており、公私共に充実した日々を過ごしております。

国の住宅政策は建てては壊すという流れから、ストック住宅の活用・流通という流れが強く、ここ10年でもリフォームに対する社会情勢や人々の認識が大きく変化してきております。

日々リフォームの仕事をする中で、構造的、法律的な制約の中で施主の希望を叶えたプランを作ったり、雨漏りなど、その住宅の抱える問題点を解決するベストな方法を見つけ出したり、お客様のライフプランニングを見越した上での資金的なご提案をさせていただいたり・・・毎日が勉強、勉強です。

今後はいっそう専門知識を学び、人間力・コミュニケーション力を高め、仕事を通して多くの人を幸せにすることができたらと思っております。絶対に私にはそれができる！と信じて日々がんばっております。

プロフィール

野村薫（のむらかおる）
（旧姓　吉田）
東京家政学院大学住居学科卒業
（昭和63年度）
現ミサワホームイング㈱
杉並北営業部部長二級建築士
http://www.misawa.co.jp/reform/

研究室紹介40

東京家政学院大学

精神保健福祉研究室
（中島直行）

統合失調症やうつ病、依存症、自殺問題など、心の健康についての関心が広がっています。医療や福祉の現場で、精神保健福祉士という国家資格が出来て13年、多くの精神保健の現場で、この新しい職種が、医師、看護師、地域施設の指導員その他の専門家たちと協働して、精神障害者の医療、社会復帰、地域生活支援の取り組みを展開しています。

本学の人間福祉学科の中に精神保健福祉士の課程を開設して7年になり、この春3期目の卒業生を送り出しました。

精神保健福祉研究室は、常に精神障害者たちが集う現場とのきずなを大切に活動してきました。毎年のKVA祭では、中庭の模擬店に食品を扱う地域支援施設を多数お呼びしてその販売に協力したり（写真1）、ゼミでは病気の当事者たちとの交流（写真2）や、精神科病院、地域支援拠点の見学を実施したりと、直接の体験による学びを重視しています。これらの準備の上に、4年次の病院・地域、それぞれ12日、計24日間の現場実習があります。その後の卒業研究、国家試験対策まで、この課程を選択した学生たちは、3年後期から卒業までの1年半、ゼミ仲間や教員と共にきわめて密度の濃い時間を過ごします。

その甲斐があってか、昨年、今年と、現場の実習指導者たちとの良い出会いも機縁となって、卒業生たちが続々と精神科医療機関や地域支援施設に就職しています。数年後には現場に就労した卒業生たちの一大ネットワークができるのではとの幻想を抱いています。

なお、国家試験の結果は、初年度が全国平均、2年目の昨年は10名中9名合格の快挙でしたが、今年は12名受験して5名という厳しい結果になりました。

写真1：KVA祭風景
（2010.11.13）

写真2：「かわせみの家」で一緒に作ったクッキーで交流のひと時（2010.12.15）